けやき会会報
兵庫県立大学 同窓会

第30号　令和8年10月30日　発行

〒673-8588　兵庫県明石市北王子町13-71
TEL 078-925-0860　FAX 078-925-0878

デザイン　株式会社　サラト
〒670-0948　兵庫県姫路市北条宮の町172
tel 079-284-1380　https://salat.co.jp/

けやき会とは：兵庫県立看護大学卒業生・兵庫県立看護大学大学院修了生、兵庫県立大学看護学部卒業生・兵庫県立大学大学院看護学研究科修了生、在学生、名誉会員、特別会員（旧現教員）を会員とし構成されている同窓会です。

会長挨拶　けやき会役員としての活動を通じた気づきとつながり

2002年度　兵庫県立看護大学看護学部6期生
2010年度　兵庫県立大学大学院博士前期課程修了
京都大学医学部附属病院　大内　紗也子

みなさま、こんにちは。会長の大内です。2024年に会長に就任し、臨床現場であわただしい日々に追われていた私にとって、けやき会での活動は自身のキャリアを捉えなおす貴重な機会となっています。毎年の学位授与式への出席を通して現役学生と触れ合って原点を思い出し、他学部の同窓会との連携や「兵庫県立大学女子会」での活動を通して社会的な視野が大きく広がりました。また明石キャンパスに出向く機会が増えたことで教員や様々な分野で活躍する先輩・同級生と繋がりなおせたことは、臨床に追われる日常から一歩外へ踏み出し、自らの生き方を柔軟に考える大きなきっかけとなっています。

看護学部が30周年の節目を過ぎた今、けやき会の在り方も従来の踏襲にとどまらず、時代の変化に合わせて新たに模索する必要性を感じています。現在けやき会では、具体的にどういった活動が同窓生にとってメリットとして提供できるのか、その価値を役員会で問い直しているところです。

私たちが大切にしたいのは、卒業しても兵庫県立大学看護学部への愛着を持ち続け、「この大学を卒業できてよかった」と感じていただくことです。そして臨床や教育・研究、行政など多様な現場で奮闘する同窓生が困ったときに立ち寄り互いに支え合える「ピアサポートの場」となれるよう、陰ながらその活躍を支える活動のカタチを模索しています。

けやき会は、仲間と共に歩み、仕事や人生をより豊かにするための温かい基盤として活動していきます。これからも母校への誇りを胸に、会員の皆様が互いに励まし合い、高めあえるような活動を共に築いてまいりたいと思います。今後ともけやき会の活動への協力と関心を寄せていただくようお願い申し上げます。



2026年8月23日　神戸三宮にて兵庫県立大学女子会ランチ会（姫路工業倶楽部の役員の方が幹事となり、開催くださいました）

講演会開催のご報告

2026年7月31日、ウェルカムキャンパス事業として、講演会「看護師のための生成AI活用入門ー現場・教育でどう使う？ー」を開催いたしました。京都第二赤十字病院の淺野耕太氏を講師としてお招きし、対面とZOOMとをあわせて65名という多くの皆様にご参加いただきました。詳細はけやき会ホームページをご覧ください。



講演会に参加して

楢橋　明子

2001年度　兵庫県立看護大学看護学部５期生



現在、地域包括支援センターで働いています。複数の職種・様々な経歴の人がいる現場でAIを使うことについて、考え方は多様です。示されている指針がない中で、「記録やプランをAIに任せたら業務の効率化ができる」という意見もあります。そのような意見に対し「思考力を失ってしまわないか」と不安を感じていました。講義のタイトルを見たときに、ぜひ、ほかの看護職、ほかの職場がどのように考えているか知りたいと思いました。うきうきと友人を誘い、久々に大学に伺いました。

講義を受けて感じたことは、自分がAIについてあまりわかっていなかったということです。新しい技術だからこそ特性をわかって使うべきこと、そして新しい技術を使うことの影響をよく理解しておくことが大切であること、それが分かっていれば、恐れることはないと感じました。効果的に利用できれば、新しい知識を今までにない速さで集めることができます。その知識をより良い実践につなげていく。支援のプロセスは自分で行う必要があると思います。けれども、そこに必要な知識を調べる、情報に漏れがないか確認するといった補助的な役割をAIに果たしてもらうことで、より良い実践につなげることができるようになると思いました。直近では、研修中に出てきたわからない単語をAIを使って調べることもしてみましたが、なかなか効果的でした。

せっかく、AIへの抵抗感がうすれたので、自分の写真をAIにイラストにしてもらいました。特徴をよくとらえていると思います。

そして、今回、講義に参加したことで、同期の友人に25年ぶりに会うことができました。視野を広げてくれて、友人とも再会させてくれた研修に感謝です。

大阪大学医学部附属病院　新開　裕幸

2001年度　兵庫県立看護大学看護学部５期生



「そんな使い方もできるのか」

今回の講演では、普段から仕事でAIを使っている私にも、新しい発見がいくつもありました。看護師が使ううえで知っておきたいAIの特性や危険な点に加え、具体的な活用方法を紹介していただき、大変参考になりました。

特に参考になったのは、文献検索と学習への活用です。院内の資料作成や院外での発表に向けて、文献を探し、読み、必要な情報をまとめる作業には、これまでかなりの時間をかけていました。それをAIでどこまで効率化できるのか。目的に応じたAIの使い分けを聞き、自分の仕事の進め方も変えられそうだと感じました。

中でも、複数の文献を読み込ませ、要約から音声を作成して移動中に聴くという方法には驚きました。私にとって、論文はまず「読むもの」でした。それが「聴いて学ぶ」こともできる。移動時間が学習の時間になるというのは、とても魅力的です。まず耳で概要をつかみ、気になるところを原文で詳しく読む。そんな使い方をしてみたいと思いました。

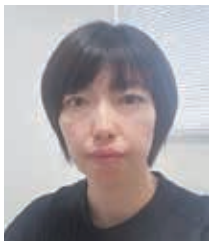
一方で、自分の使い方を振り返るきっかけになったのが「シコファンシー（迎合性）」です。ハルシネーションには気をつけていましたが、この言葉は初めて知りました。AIがこちらの考えに過剰に同意してしまうという説明には、「そうそう、確かにある」と思いました。自分の意見を肯定されると、つい安心してしまいます。しかし、その納得感が、自分の思い込みを強めているかもしれない。納得した回答こそ、反対の意見も聞いてみる必要があると感じました。

最後に、AIは仕事を代行させる道具ではなく、自分の力を後押しし、患者さんと向き合う時間を取り戻すための道具である、という言葉が心に残っています。何ができるかに目が向きがちですが、何のために使うのかを忘れずにいたいと思いました。今回学んだ視点を職場でも共有し、安全に、賢く活用していきたいと思います。

どうぞよろしくお願い致します。

2005年度　兵庫県立看護大学看護学部10期生
2011年度　兵庫県立大学大学院看護学研究科博士前期課程
2021年度　兵庫県立大学大学院看護学研究科博士後期課程

神戸女子大学看護学部　小枝　美由紀



看護基礎教育においても、私が専門とする在宅看護においても、近年急激に生成AIが身近なものになってきました。「これからAI活用の知識と技術の活用は必須事項であり、うまく使えるようにならなければ。」と思いながらも、実際には私自身の心理的なハードルもあって、活用ができていない日々です。今回の講演では、基本的な知識から具体的な活用の仕方まで教えていただき、AI初心者の私には大変勉強になりました。

情報をまとめる作業はAIにお願いすることで、そのために必要だった時間を短縮することができます。研究活動をするにも、授業資料を作るにも、得られた情報を使って自分の伝えたいことをどう組み立てていくか、それをどう表現していくかを考える手助けになります。一方、AIが提示してくれる内容が全て正しいとは限りません。実際にAIを使用していて、全く見当違いの内容が出てくること、微妙にニュアンスの違うものが出てくることも経験します。AIが出してきてくれたものがそれでよいのかどうか、最終的な判断は人間がすべきところです。

個人情報のことにも講演では触れられていました。個人情報を取り扱う職業であるというところでは、個人情報の保護と、AIの活用に関する知識はきちんとつけておかなければならないし、看護基礎教育に携わっているものとしては、看護学生にもきちんと教育しなければと思います。

AIをうまく活用すれば、見やすくわかりやすい授業資料作成の手助けにもなるのだろうなと感じています。今回の講演でいただいた知識を使ってチャレンジしたいと思います。

在宅看護専門看護師としては、訪問看護でのDXというところで、在宅療養者へのケアの質向上のために、多機関多職種連携への活用ができないかと模索中です。

やりたいことはたくさんありつつ、現実にはなかなかすすまない毎日ではありますが、今回をきっかけに、一つひとつクリアしていこうと思っています。

2005年度　兵庫県立看護大学看護学部10期生
2024年度　兵庫県立大学大学院看護学研究科博士後期課程

姫路大学看護学部　竹村　和子

AIを看護や学習にどのように活用しているか

去る7月に開催された「看護師のための生成AI活用入門―現場・教育でどう使う？―」に参加させていただきました。日々AIを無視できない社会に変わっていく中で、「正しく使う」とはどういうことだろう？と自問していた私にとって、今回のテーマはまさに興味のある内容で、すぐに申し込みました。

淺野先生のお話の内容は、ただ「すごい！」の一言でした。淺野先生はさまざまなAIサービスを使いこなされており、「AIに使われる」のではなく「AIを使いこなす」とはこういうことなのだと実感しました。では、自分はAIを使いこなせるのかと問われると、まだ自信はありません。

現在、私は教育現場で、看護職の土台をつくる学生と日々向き合っています。今の若い人たちはIT機器に強く、AIも上手に使っているのだろうと思います（私の前では使いませんが）。私自身、学生に「AIはこう使うべき」と明確に示せるわけではありません。それでも、AIとの付き合い方について、自分自身で考え、周囲の人と一緒に考え続けることは大切だと思っています。

とはいえ、AIはとても便利だとは思います。私はそそっかしいところがあるので、AIには講義スライドの誤字脱字チェックや、法律の制定年や出典を確認、事例設定の矛盾を見つけてもらっています。学生が迷わない、より完成度の高い講義資料をつくるために助けてくれていると思っています。論文を書く際にも、表現や言い回しについて相談することがあります。

AIと付き合っていく中で気を付けていることは、「頼りすぎない」ことです。あまりにも便利すぎてつい頼ってしまいますが、稚拙でも自分で考えることをやめてはいけないと思っています。また、生成AIの利用には大量の電力消費も伴います。便利さだけを享受するのではなく、AIを使うモラルと、人間としての責任を忘れずに付き合っていきたいと思います。

学術情報館の利用案内

明石看護学術情報館では、けやき会会員の皆さんの研究活動や学習を支援するため、図書や雑誌の閲覧・複写のほかに、さまざまなサービスを提供しています。昨年度（2025）は、41名のけやき会会員の方に学術情報館をご利用いただきました。

卒業・修了されてから学術情報館をご利用されたことのない方は、この機会にぜひ学術情報館をご利用いただき、ご自身の研究活動や学習にお役立てください。また、来館せずにご自宅等からご利用いただけるサービスもございますので、あわせてご活用ください。

【利用時間】
平日９：00～19：00（授業のある日）／９：00～17：00（授業のない日）、土曜日９：00～15：30（第１・第３土曜日。年間15日）※詳しくは、学術情報館ホームページ（https://lib.laic.u-hyogo.ac.jp/laic/5/）の「開館日カレンダー」をご覧ください。下記QRコードからもホームページにアクセスできます。

【利用者登録】
初回来館時に、「利用者証」を発行いたします（有効期限：発行日より１年間。１年ごとに更新）。なお、初回来館時は、平日の閉館30分前までにお越しください。また、初回来館時および更新時は、現住所が確認できる身分証明書（運転免許証、マイナンバーカード等）をご持参ください。

【入館・退館】
入館時は、１階の保安室で受付を済ませてから、２階･学術情報館カウンターへお越しください。退館の際も、保安室にお立ち寄りください。

【館内でご利用いただけるサービス】
①医中誌Webの検索 ②医中誌Web検索結果の文献複写サービス（メディカルオンライン、CINAHL、MEDLINE収載文献およびオープンアクセス論文限定）

【来館不要でご自宅等からご利用いただけるサービス】
③メディカルオンラインで医療系雑誌の検索、アブストラクト（通常は１件110円）の無料閲覧（ID・パスワードをお渡しします。ID・PWは毎年更新）④メディカルオンライン、CINAHL、MEDLINE収載文献の複写を無償で提供（提供の目安：１文献につき15枚まで、１年間に10回まで）

上記①～④のサービスは、けやき会の会員の方に向けて実施しています。一般利用者の方はご利用いただけません。

なお、④のサービスをご利用の際は、メール本文に複写希望文献の情報（雑誌名、巻号、発行年月、論文タイトル、著者名、開始ページ･終了ページ）とお名前、郵送先、卒業･修了年度、学籍番号（覚えていれば）、けやき会会費納入の有無を記載いただき、学術情報館のメールアドレス宛にお送りください。

学術情報館の利用についてご不明な点がございましたら、下記【お問い合わせ先】の電話番号またはメールアドレスへお問い合わせください。皆さんのご利用をお待ちしております。

学術情報館HP

【お問い合わせ先】
明石看護学術情報館
TEL：078-925-0882　メールアドレス：laic-akashi@lib.laic.u-hyogo.ac.jp

明石看護キャンパス学術情報館の魅力

今年度４月より明石看護キャンパス学術情報館長を務めさせていただいている紀平（専門関連教育・哲学系）と申します。同窓会けやき会の皆様には、いつも明石看護キャンパス学術情報館をご支援いただき、誠にありがとうございます。

学生時代の皆様にとって、当館はどのような場所だったでしょうか。試験勉強に取り組んだり、卒業研究のために資料を探したり、あるいは息抜きのための場所だったかもしれません。資料に関しては現在、電子化が進み、学外にいても検索や文献取り寄せをしていただくことができます。また館長として大切にしたいのは空間の価値です。多忙な臨床から少し離れ、疑問に思われたことや興味を持たれたことについて、落ち着いて思いを巡らせるための場所でもあります。そのための資料も取り揃えております。

医療が日々発展する中で、同窓生の皆様が生涯学び続けられる場所として、当館をご利用いただければ幸いです。

第30回けやき会総会報告

2026年５月23日（土）兵庫県立大学明石看護キャンパスにおいて開催いたしました「第30回けやき会総会」は、以下の通り終了いたしました。ご出席いただきました会員の皆様にご臨席いただく中、全議案についてご承認を賜りましたのでご報告申し上げます。

記

１．令和８年度 役員選出〈第１号議案〉

大内会長より新役員の候補について説明があり、事前Web上での第１号議案承認72名・非承認１名、総会出席者承認９名、委任状55名で可決されました。また、会則第３章13条の規定に則って、引き続き役員継続する者がいること、また後任者を今年度にかけて募集する旨も説明がなされました。

会　長：大内紗也子さん
副会長：西池絵衣子さん　新開裕幸さん
会　計：髙橋芙沙子さん　西谷美保さん
庶　務：下西久美子さん　花井理紗さん　大枝桃子さん　庄司寛子さん

２．令和８年度 事業計画〈第２号議案〉

大内会長より、今年度における事業計画について説明がありました。けやき会ホームページの更新・管理について、けやき会会報の発行・配信、会員と準会員に対する還元事業への寄付、けやき会主催の講演会、ウェルカムキャンパス事業の開催について報告がありました。

事前Web上での第２号議案承認72名・非承認１名、総会出席者承認９名、委任状55名で可決されました。

３．令和７年度 収支決算報告〈第３号議案〉

会計濵上さんより、令和７年度の収支決算報告がありました。また監査員２名の監査を終えている旨の説明がありました。

事前Web上での第３号議案承認72名・非承認１名、総会出席者承認９名、委任状55名で可決されました。

４．令和８年度 予算案〈第４号議案〉

会計濵上さんより、本年度の予算案についての説明がありました。

事前Web上での第４号議案承認72名・非承認１名、総会出席者承認10名、委任状55名で可決されました。

５．意見交換

会計濵上さんより、郵送による案内をメールマガジン配信へ変更したことにより、会計収支が赤字基調から黒字基調へ転じていることが報告されました。また、これにより蓄積されつつある資金については、今後、周年事業等におけるまとまった支出を含め、会員への適切な還元に資する形で活用していく方針である旨の説明がありました。

以上

第31回けやき会総会のご案内

次年度のけやき会総会を、下記のとおり開催いたします。
会員の皆様におかれましては、ぜひご参加くださいますようお願い申し上げます。

日時：2027年５月15日　土曜日　10時00分～
場所：兵庫県立大学　明石看護キャンパス

なお、詳細につきましては、開催日が近づきましたらメールにてあらためてご案内いたします。

坂下玲子先生　最終講義のお知らせ

　このたび、坂下玲子先生が令和９年３月末日をもちまして、ご定年を迎えられることとなりました。
　坂下先生は長年にわたり、看護の教育・研究・臨床の発展に尽力されるとともに、多くの学生・大学院生の育成にも力を注いでこられました。これまでのご貢献への深い感謝と、その歩みへの敬意を込めて、右記のとおり最終講義を開催いたします。
　在学生・卒業生をはじめ、坂下先生とご縁のあった多くの皆様にご参加いただければ幸いです。お知り合いの方にもお声がけいただき、ぜひご参加くださいますようお願い申し上げます。

【最終講義】

日時：令和９年２月13日（土）　受付開始　13：30
最終講義　14：00 ～ 15：30
茶話会　15：40 ～ 16：30
開催形式：会場（兵庫県立大学　明石看護キャンパス）とオンライン（Zoom）を併用するハイブリッド形式
場所：兵庫県立大学明石看護キャンパス

　最終講義終了後には、坂下先生を囲んでの茶話会も予定しております。坂下先生との思い出や近況を語り合う機会となれば幸いです。
　皆様のご参加を心よりお待ちしております。
　なお、参加費は無料ですが、事前申込制となっております。
　参加をご希望の方は、けやき会ホームページに掲載しております申込方法をご確認のうえ、ぜひお申込みください。
　ご質問やご不明な点等ございましたら、下記までお問合せください。

【お問い合わせ先】兵庫県立大学看護学部　事務局（担当：小野・富永・西谷）　fundamentalnursing.cnas@gmail.com

在宅看護学領域からのお知らせ

在宅ケア語ろう会

　在宅ケアの困りごとが解決できる地域のネットワークづくりを目的に、学習会を年２回行っています。
　在宅ケアに関心のある看護師、他職種の方々を対象にしています。是非、ご参加ください。

2026年度開催

●第12回2026年９月11日（金）18：00 ～ 19：30
「在宅ケアの現場で学ぶ」（第12回は終了しました）
●第13回2027年１月21日（木）15：00 ～ 16：30
「身体障がいのある在宅療養者の災害の備え」

在宅看護学領域ホームページ

在宅看護領域の運営します、ホームページをご覧ください。
URL：https://homenursing-cnas.jp/

第13回在宅ケア語ろう会のプログラム

「当事者として考える災害の備え」
　米田新一氏（兵庫頚髄損傷者連絡会）
「災害時における訪問看護の対応と備えを考える」
　北川美波（兵庫県立大学看護学部在宅看護学 助教）

場　所：ZOOMを使用したオンライン学習会
対　象：施設・在宅ケアに携わる看護師、他職種を問いません
定　員：50名（先着順）
参加費：無料
申し込み方法：Googleフォーム（下記リンクもしくは右記QRコードにて）
https://forms.gle/ezcXYB6zXupgS2h18

兵庫県立大学　CNAS（シーナス）看護実践支援センターからのお知らせ

　臨床看護研究支援センターは、令和７年度からCNAS（シーナス）看護実践支援センター（通称：CNAS（シーナス）センター）に名称が変わりました。CNASセンターは、臨床現場（医療・福祉施設、地域を含む）と大学が連携し、看護ケアの質的向上を図ることを目的として、兵庫県立大学看護学部の教員が、看護研究、看護教育、コンサルテーション、教員の専門知識を活用したセミナーなど多彩な支援を行っています。今年度は、現場との共同研究を考えるプロジェクト、リカレント教育についてのプロジェクト、文献レビューのプロジェクト、卒業生支援プロジェクトに取り組んでいます。皆さんの臨床実践能力向上の機会や、問題解決の相談の場として積極的にご活用ください。また、随時セミナー等も開催しています。セミナーの詳細な内容や申し込み手続き、相談は、CNAS（シーナス）センターのホームページ（QRコード）からアクセスすることが可能です。

≪今後開催予定のセミナー等≫

第４回理論看護研究会

　来年３月に兵庫県立大学において理論看護研究会が開催されます。「実践と理論をつなぐ」をスローガンとして、他の学会にはないさまざまなコンテンツを準備していますので、ご関心のある皆さまはぜひご参加ください。

第４回理論看護研究会ホームページ https://theoretical-ns.jp
日時：令和９年３月６日（土）
場所：兵庫県立大学 明石看護キャンパス（アーカイブ視聴あり）
講演：
- **Lorraine O. Walker**（School of Nursing, The University of Texas at Austin）
  Concept Analysis and Concept Development during an Information Revolution
- **波平恵美子**（お茶の水女子大学名誉教授）
  質的資料から抽象概念を導き出す手順 ーハレ、ケ、ケガレを事例として
- **坂下玲子**（兵庫県立大学理事兼副学長、看護学部教授）
  状況特定理論をつくる ー主要概念の構築

精神看護領域からのお知らせ

精神看護勉強会

精神看護の実践家の方々とともに、実践の奥深さを学びあう事例検討会です。

2026年度開催予定（第123回は終了しました）
第124回勉強会　2027年２月４日（木）　13：30 ～ 16：00
対　象：看護師・医療福祉に携わる支援者
方　法：対面もしくはZOOM

【精神看護勉強会】

精神看護CNSの集い

精神看護専門看護師の事例検討会です。グループ・スーパービジョンの有意義な機会となっています。

2027年度開催予定
第47回勉強会　随時開催
対象：精神看護専門看護師教育課程を修了された方
方法：オンライン（Zoom）もしくは対面

【CNSの集い】

お申し込み方法
Googleフォーム（QRコード）からお申し込みください。
なお、勉強会中に知り得た個人情報の守秘義務が生じますことを、ご承諾ください。

お申し込み・お問い合わせ先
兵庫県立大学 看護学部 精神看護学教室
〒673-8588　兵庫県明石市北王子町13番71号
Web：http://www.pmhn-cnas.jp
TEL / FAX：078-925-9431
Email：pmhn.cnas@gmail.com
担　当：菊池・松本

母性看護学領域同窓会開催のお知らせ

母性看護学領域では、年に１度、同窓会を開催し、母性・助産ゼミに所属していた卒業生・修了生、在校生、教員が集い、皆で楽しく交流しています。今年度の同窓会は下記の通り開催します。同窓生の皆様のご参加をお待ちしております！

日　　時：2027年３月20日（土曜日）
13時00分～ 15時30分（12時半開場）
開催形式：対面とオンライン（Zoom）ハイブリッド方式
場　　所：兵庫県立大学明石看護キャンパス　306講義室
参 加 費：対面での参加者　500円（飲み物・お菓子代）、オンラインでの参加者　無料
申込方法：Google Forms（https://forms.gle/NUHLpViBQcTV6FsQ8）よりお申し込みください。右のQRコードからもお申込みいただけます。

【同窓会申込フォーム】

母性看護学領域のホームページ（https://cnas-bosei.jp/alumni/）に、これまでに開催した同窓会の様子を掲載しています。ぜひご覧ください。また、今年度の同窓会のスケジュールや詳細についても、随時ホームページにてお知らせします。

【母性看護学領域HP】

＊母性看護学領域の同窓会の案内は、ご登録いただいたメールにてお知らせいたします。母性看護学領域同窓生の方で、メールアドレスの登録がお済でない方は、メールアドレス登録フォーム（https://cnas-bosei.jp/address_registration/）よりご入力をお願いいたします。
＊ご不明な点がございましたら同窓会担当の川村（mayuka_kawamura@cnas.u-hyogo.ac.jp）までご連絡ください。

けやき会役員募集のお知らせ

けやき会では、会の運営に携わってくださる役員を募集しています。役員会は、会長１名、副会長２名、会計２名、庶務４名で構成され、任期は２年です。活動として、年５回の役員会議をオンラインで行うほか、５月の総会の運営、７月のウェルカムキャンパス講演会の企画運営、11月の会報発行などに取り組んでいます。その他、大学や卒業生との連携および支援に関する事業も検討しております。役員は、大学院在籍中の方、臨床で働いている方、教員の方など、さまざまな立場の卒業生が活動しています。オンラインでの会議が中心のため、遠方にお住まいの方にもご参加いただけます。久しぶりに母校とつながり、同窓生と一緒に活動して新たなつながりを作ってみませんか。近年、同窓会の運営を行う役員の選出に困難な状況もございます。卒業生同士のつながりや大学とのつながりを維持、発展していくために皆様にご協力をいただけますと幸いです。けやき会の役員の活動にご興味のある方は、ぜひメールにてご連絡ください。

連絡先　keyakikai.cnas@gmail.com

現在の役員の声　～役員になってよかった事～

- 年代の異なる卒業生とつながりを持つことができた点です。また、役員同士でより良い同窓会活動を目指して意見を出し合いながら企画や運営を進めることは、大変なこともありますが、刺激を受けることも多く、貴重な機会だと感じています。
- 同窓会役員の活動を通して、同級生と久しぶりに再会できたり、先輩方や後輩の皆様と知り合うきっかけになり、改めて学生時代に兵庫県立大学看護学部で学んだことを振り返るきっかけになったり、現在の職務のモチベーション向上に繋がったりしています。
- 異なる世代の先輩方と交流でき、皆様の活躍を知って、自分も頑張ろうと刺激を受けています。また、日常の生活ではなかなか思いを馳せられない、大学の頃を思い出したり、懐かしんだり、自分の起点を確認したりと、キャリアを振り返る機会になっています。
- 役員を務めて一番良かったのは、同期だけでなく幅広い世代の先輩・後輩と話す機会が増え、視野や知識が広がったことです。世代を超えた繋がりができるのは、役員ならではの大きな魅力だと感じています。
- 学生時代は決して模範的な学生ではありませんでしたが、卒業から20数年経った今、大学で学んだことや出会った人とのご縁が、思っていた以上に今の自分につながっていると感じます。役員として再び大学と関わり、そのご縁を今度は少しでもつなぐ側に回れたことを嬉しく思っています。
- 望むと望まずとにかかわらず明石キャンパスまで足を運ぶ機会が増えたこと、教員にまた会う機会、同級生に会う機会が増えたことがよかったことでした。今必死で学部の同級生、大学院の同級生のつながりを駆使して次の役員を探そうとしている取り組みこそがつながりを再度作ることになっているのかなとも思っています。

メールアドレス登録のお願い

2024年より、会報や総会などのご案内を郵送からメール配信に切り替えております。2022年３月以前に卒業・修了し登録された方および変更のある方は、けやき会のホームページから【会員情報の修正】にアクセスしていただき、メールアドレスの登録・修正をお願いいたします。

けやき会ホームページ【会員情報の修正】
https://keyaki-kai.com/member-address-fix/





けやき会 役員一覧

会　　長	大内紗也子さん
副 会 長	新開　裕幸さん 西池絵衣子さん
会　　計	髙橋芙沙子さん 西谷　美保さん
庶　　務	大枝　桃子さん 下西久美子さん 庄司　寛子さん 花井　理紗さん

兵庫県立大学同窓会 けやき会 2025年度決算書・2026年度予算案

＜第３号議案＞令和７年度収支決算報告について
2025年度兵庫県立大学同窓会けやき会決算報告は以下の通りです。監査員２名による監査を終えております。

＜第４号議案＞令和８年度予算案について
2026年度兵庫県立大学同窓会けやき会の予算案を以下の通り策定いたしました。

2025年度決算書

収入の部　（2025.4.1~2026.3.31）　2026年３月31日

費　目		2025年度決算額	備　考
会費			
2025年度	学部入学生	¥930,000	93名×10,000
	大学院入学生	¥60,000	６名×10,000
	学部卒業生	¥20,000	２名×10,000
	大学院卒業生	¥10,000	１名×10,000
	特別会員	¥0	０名×10,000
雑収入		¥8,937	利子(8,069)＋昨年度の寄付返金分(868)
学友会ウェルカムキャンパス		¥218,749	
前年度繰越金		¥6,300,863	
収入合計		**¥7,548,549**	

支出の部　（2025.4.1 ～ 2026.3.31）

費　目	2025年度決算額	備　考
Ⅰ　ホームページ	¥55,000	
Ⅱ　総会	¥37,400	定例総会１回
Ⅲ　会報	¥111,100	
Ⅳ　寄付金	¥300,000	兵庫県立大学法人(学術情報館) CNAS看護実践支援センター
Ⅴ　ウェルカムキャンパス事業	¥218,749	
Ⅵ　事務	¥43,855	
Ⅶ　役員交通費	¥16,846	
Ⅷ　その他	¥330	振込手数料
支出合計	**¥783,280**	

2025年度決算残高

収入総計	**¥7,548,549**
支出総計	**¥783,280**
差引残高総計	**¥6,765,269**

2025年度決算報告について監査を行い、以上相違ありません。

監査　栗林健司　印
監査　奥村和代　印

2026年度予算案

収入の部　（2026.4.1 ～ 2027.3.31）　2026年３月31日

費　目		2026年度予算案	人数	会　費
会費				
2026年度	学部入学生	¥1,050,000	105	10,000
	修士入学生	¥50,000	5	10,000
	博士入学生	¥0	0	10,000
前年度繰越金		¥6,765,269		
収入総計		**¥7,865,269**		

支出の部　（2026.4.1 ～ 2027.3.31）

費　目	2026年度予算案	備　考
Ⅰ　ホームページ		
年間管理費	¥55,000	
臨時ページ更新費	¥20,000	
Ⅱ　総会		
web総会システム費	¥20,000	
メール配信	¥15,000	
Ⅲ　会報		
会報作成費	¥150,000	
メール配信	¥15,000	
Ⅳ　寄付金	¥400,000	CNAS応援金等
Ⅴ　ウェルカムキャンパス事業	¥300,000	会員が母校に帰る機会の提供
Ⅵ　事務		
消耗品	¥50,000	
遠隔会議システム	¥25,000	
Ⅶ　役員交通費	¥80,000	
Ⅷ　予備費	¥100,000	
支出総計	**¥1,230,000**	

収支差額	**¥6,635,269**	



けやき会会報をご覧いただきありがとうございます。無事に第30号を発行することができました。ご協力いただきました本校の教員の皆様、同窓生の皆様に感謝申し上げます。

学生時代の講義で、南先生が、卒業後も大学とのつながりを大切にしてほしいこと、また同窓生というつながりは、たとえ面識がなくても身近に感じられるものであり、卒業後に出会って仕事などで関わる機会があれば、ぜひ互いに協力してほしいという趣旨のお話をしてくださったことを覚えています。今回、けやき会の役員となり、その言葉をあらためて思い出しました。また卒業後も、研修や講演会など学びの機会が開かれていることは、とても貴重なことだと感じています。この会報が、大学や同窓会をより身近に感じるきっかけとなればうれしく思います。引き続き、けやき会活動にご支援とご協力のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。